

新型コロナウイルスの消毒液

次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウム溶液について

6月26日に通産省より次亜塩素酸水がコロナウイルスに効果があることが認められたとの報告がありました。しかし、北海道バスケットボール協会としては使い方などが煩雑であり、手指等への影響、空間噴霧の有効性・安全性を評価していないため消毒薬としては推奨しないこととします。学校等においては文科省からの通達がなければ使用は許可されないと聞いておりますので、消毒用エタノール（濃度70%～83%のもの）を推奨いたします。まだ、手に入りづらい状況のようですので、代替えとして界面活性剤と次亜塩素酸ナトリウム溶液について下記に注意事項を含め記載します。

【1】 界面活性剤

- ・ 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（0.1%以上）
- ・ アルキルグリコシド（0.1%以上）
- ・ アルキルアミノオキシド（0.05%以上）
- ・ 塩化ベンザルコニウム（0.05%以上）
- ・ 塩化ベンゼトニウム（0.05%以上）
- ・ 塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%以上）
- ・ ポリオキシエチレンアルキルエーテル（0.2%以上）
- ・ 純石けん分（脂肪酸カリウム（0.24%以上））【6月25日追加】
- ・ 純石けん分（脂肪酸ナトリウム（0.22%以上））【6月25日追加】

※これらの界面活性剤の活用について、動画を作成し、NITEのサイトに洗剤のリストを掲載していますので、ご活用ください。

【2】 次亜塩素酸水（有効塩素濃度35ppm以上）【6月25日追加】

（ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムを水に溶かしたものについては、有効塩素濃度100ppm以上）

※空間噴霧は推奨されません。

※「次亜塩素酸水」は、従来から新型コロナウイルス対策として物品の消毒に使用することが推奨されている「次亜塩素酸ナトリウム」とは別のものです。

新型コロナウイルスに有効な消毒・除菌方法（一覧）



(独)製品評価技術基盤機構（NITE）が実施した有効性評価の結果等を踏まえ、新型コロナウイルスに対して有効な消毒・除菌方法を紹介します。

従来から推奨してきた消毒方法

主な用途

石けん・ハンドソープによる手洗い
手指

アルコール（60%以上95%以下）
手指
物品

熱水
物品

塩素系漂白剤等
（次亜塩素酸ナトリウム 0.05%以上）
物品

今回の評価事業を通じて、あらたに有効性が確認された方法

主な用途

家庭用洗剤等

（界面活性剤・第4級アンモニウム塩）

一部手指も

- ▶ 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（0.1%）
- ▶ アルキルグリコシド（0.1%）
- ▶ アルキルアミンオキシド（0.05%）
- ▶ 塩化ベンザルコニウム（0.05%）
- ▶ 塩化ベンゼトニウム（0.05%）
- ▶ 塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%）
- ▶ ポリオキシエチレンアルキルエーテル（0.2%）
- ▶ 純石けん分（脂肪酸カリウム）（0.24%）
- ▶ 純石けん分（脂肪酸ナトリウム）（0.22%）

使用方法

- ・住宅・家庭用洗剤は、製品に記載された使用方法に従ってそのまま使う。
- ・台洗剤は、100分の1に薄めて、（水500mlに小さじ1杯）きれいな布などに浸して拭き取る。

有効な界面活性剤が含まれる「家庭用洗剤」の製品リストを公開しています。

使用方法

- ・汚れをあらかじめ落としておく。十分な量の次亜塩素酸水で消毒したいモノの表面をヒタヒタに濡らし、拭き取る。

使用方法

- ・汚れをあらかじめ落としておく。次亜塩素酸水の流水で、消毒したいモノに掛け流し、拭き取る。

NITEの有効性評価の詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.nite.go.jp/information/koronataisaku20200532.html>

塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム液）

テーブル、ドアノブなどには、市販の塩素系漂白剤の主成分である「次亜塩素酸ナトリウム」

が有効です。「次亜塩素酸」の酸化作用などにより、新型コロナウイルスを破壊し、無毒化するものです。

<使用方法>市販の家庭用漂白剤を、次亜塩素酸ナトリウムの濃度が 0.05%になるように薄めて拭きます。その後、水拭きしましょう。

<注意事項>※塩素に過敏な方は使用を控えてください。

※目に入ったり、皮膚についたりしないよう注意してください。

※飲み込んだり、吸い込んだりしないよう注意してください。

※酸性のものと混ぜると塩素ガスが発生して危険です。

※「次亜塩素酸水」とは違います。「次亜塩素酸ナトリウム」を水で薄めただけでは、「次亜塩素酸水」にはなりません。

※金属製のものに次亜塩素酸ナトリウムを使用すると、腐食する可能性があるので注意してください。